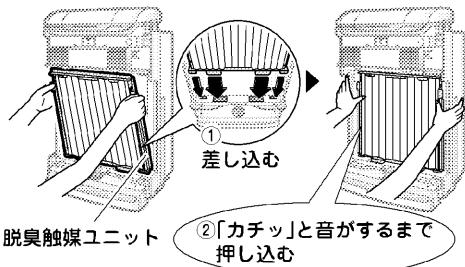
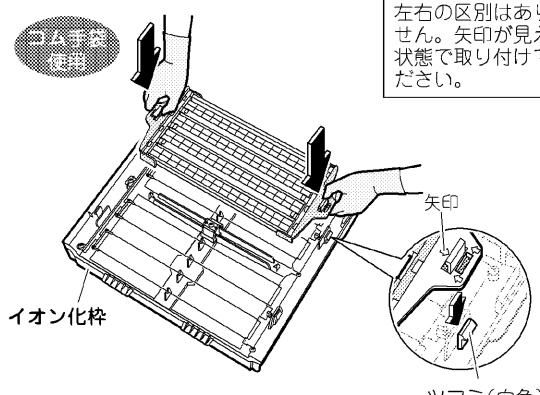
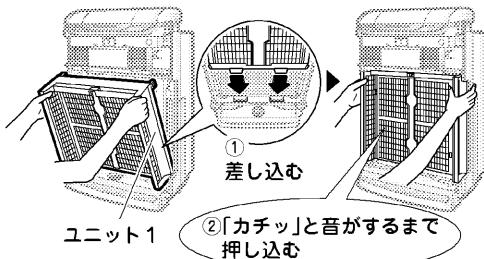
取付けかた

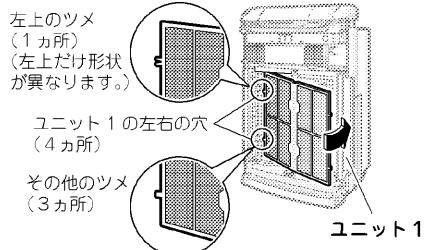
1 脱臭触媒ユニットを取り付ける。

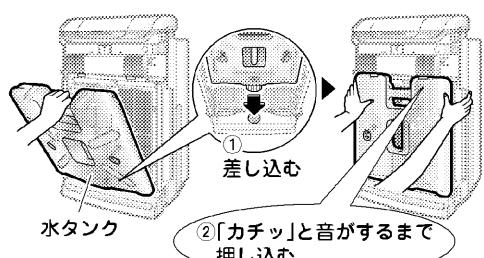
● とっ手を持ち、本体下部の溝（4ヵ所）に脱臭触媒ユニットの突起部を差し込んで、本体へ押し込む。

取付け

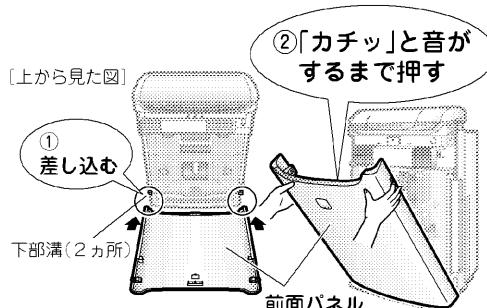
① イオン化枠のツマミ（左右2ヵ所）に対向極板を差し込む。

② 「カチッ」と音がするまで確実に押し込む。
③ もう片方の対向極板も取り付ける。

2 ユニット1を取り付ける。

● とっ手を持ち、本体下部の溝（2ヵ所）にユニット1の突起部を差し込んで、本体へ押し込む。

3 プレフィルターを取り付ける。

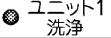
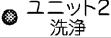
● 左右のツメ（左右4ヵ所）をユニット1の穴（左右4ヵ所）に合わせて差し込む。

4 水タンクを取り付ける。

● とっ手を持ち、本体下部の穴に水タンクを差し込んで、本体へ押し込む。

5 前面パネルを取り付ける。

● 本体下部の溝にパネル下部のツメ（2ヵ所）を差し込んでパネルを閉じる。

前面パネルが正しく装着されていないと安全スイッチが作動し、運転しない場合があります。 ▶16ページ

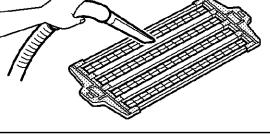
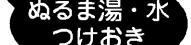
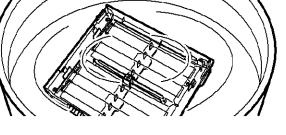
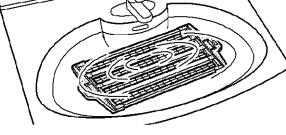
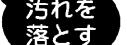
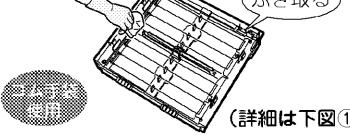
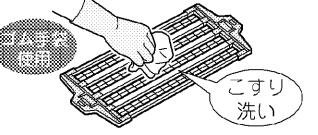
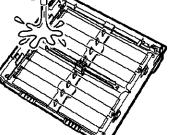
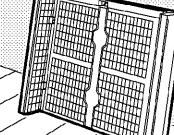
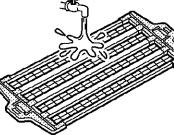
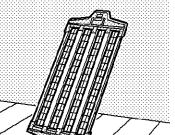
お手入れ

ユニット1・ユニット2のお手入れ

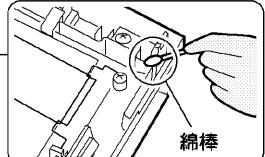
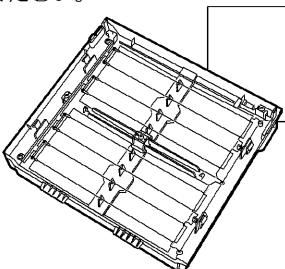
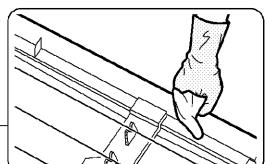
お手入れのめやす	「ユニット１・２」洗浄ランプが点灯したら　● ユニット1 洗浄　● ユニット2 洗浄
お手入れのしかた	つけおき

汚れが気になる場合は、「ユニット１・２」洗浄ランプが点灯していなくてもお手入れしてください。

ご注意

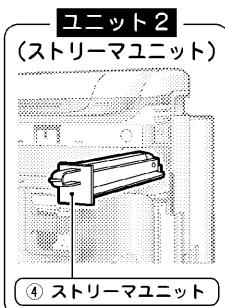
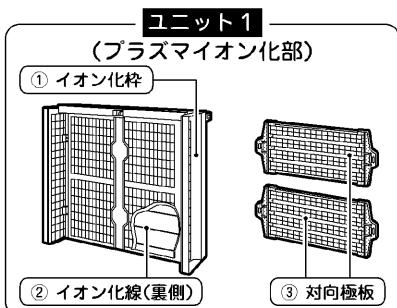
- ふき取りやこすり洗いの際は、**ゴム手袋**を使用してください。
  対向極板、イオン化線、ストリーマユニットの針で手を切るおそれがあります。

内容	ユニット１		
	① イオン化枠	② イオン化線	③ 対向極板
各部品を取り外す。	▶18ページ		▶18ページ
掃除機などで表面のホコリを吸い取る。（吸い取る）▼			
ぬるま湯または水につけおきする。（約１時間）（ぬるま湯・水 つけおき）▼			
布またはやわらかいブラシなどで汚れを落とす。（ゴム手袋を使用してください。）（汚れを落とす）▼	ふき取る　ゴム手袋使用　（詳細は下図①②）		ゴム手袋使用　こすり洗い
流水ですすぎ水気を切る。▼			
風通しのよい日陰で乾燥する。（約１日）▼			
各部品を取り付ける。	▶19ページ		▶19ページ

①イオン化枠（つけおき後、乾燥する前に行ってください。）

- やわらかい布で樹脂部の汚れを落としてください。
- 凹凸があり指が入りにくい部分は綿棒などで汚れをふき取ってください。
- 布などのせんいクズが残らないようにしてください。
  誤作動の原因になります。

ゴム手袋使用

凹凸がある部分は綿棒などで汚れをふき取ってください。

各部の取外し・取付けかたは
▶18, 19ページ を参照してください。

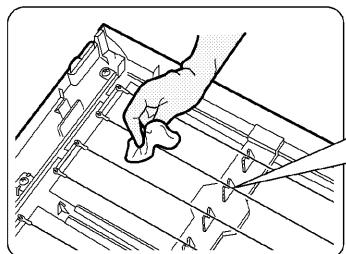
ユニット1
(プラズマイオン化部)

ユニット2
(ストリーマユニット)

⚠ 注意

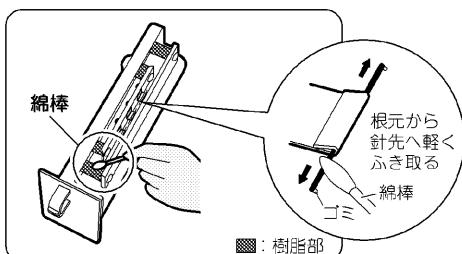
■ 対向極板の奥には、イオン化線があります。取付け、取外しの際はこのイオン化線を切らないように注意してください。
- イオン化線が切れたまま運転すると、「ユニット1」洗浄ランプが点灯します。「ユニット1」洗浄ランプが点灯中は集じん能力が低下します。
- 誤ってイオン化線が切れてしまったときは、交換が必要ですので、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。(お客様自身では交換しないでください。)▶35ページ

ユニット2 ④ ストリーマユニット	注意点
前面パネルを開けストリーマユニットを引き出す。	
	● イオン化枠やストリーマユニットのネジを外さないでください。 故障の原因になります。
	● 必ず浴室や台所のシンクなど、ぬれてもよい場所で行ってください。 ● 汚れがひどいときは、台所用洗剤などの液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水につけおきしてください。 ● 液体中性洗剤は洗剤の注意書で決められた量で使用してください。
ふき取る (詳細は下図④)	● 粉末洗剤やアルカリ性・酸性洗剤を使用したり、硬いタワシなどでこすらないでください。 変形、破損の原因になります。 ● **ユニット2** (ストリーマユニット)の中の針が変形すると脱臭能力が低下します。
	● 洗剤が残っていると、お手入れ後も「ユニット1」・「ユニット2」洗浄ランプが消えないことがありますので、十分に水洗いしてください。 ● 布などのせんいクズが残らないようにしてください。誤作動の原因になります。 ● 直射日光にあてると樹脂部が変色、変形することがあります。 ● 少しでも水分が残っていると、お手入れ後も「ユニット1」・「ユニット2」洗浄ランプが消えないことがありますので、日陰でよく乾かしてください。
もとどおり取り付ける。	

②イオン化線(8本)

- やわらかい布でイオン化線と周辺の樹脂部の汚れを落としてください。

イオン化線は、軽くふいてください。
強く引っぱると切れるおそれがあります。

④ストリーマユニット

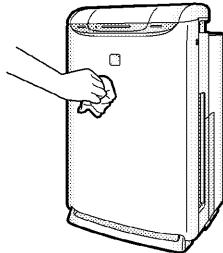
- 針にゴミが付着している場合は、綿棒などのやわらかいもので軽くふき取ってください。
- 綿棒またはやわらかい布で内側の樹脂部(■部)の汚れを落としてください。
- ネジは外さないでください。

針が変形すると脱臭能力が低下します。

各部のお手入れ

⚠ 警告

- ガソリン、ベンジン、シンナー、ミガキ粉、灯油、アルコールなどは使用しない。(ひび割れ・感電・引火の原因)
- 本体を水洗いしない。(感電や火災・故障の原因)

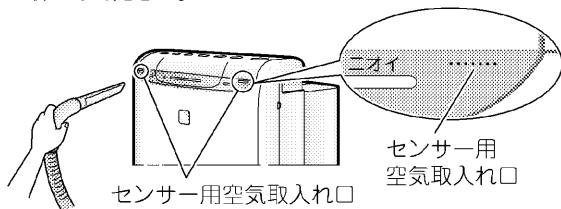
前面パネルの掃除 ふき取り

- 水で湿らせた布またはティッシュなどで汚れをふき取ってください。
- 汚れがひどいときは液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。(洗剤が残らないようふき取ってください。)

硬いタワシなどを使用しない

- 傷の原因になることがあります。

センサー用空気取入れ口の掃除 そうじき
(ホコリ・ニオイ・温度・しつどセンサー)

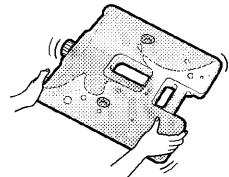
本体の掃除 ふき取り

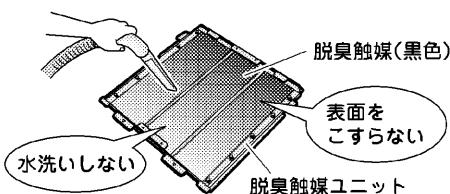
- 掃除機のすきま用ノズルなどを使用して、センサー用空気取入れ口に付着したホコリを吸い取ってください。
- 本体は水で湿らせた布またはティッシュなどで汚れをふき取ってください。

プレフィルターの掃除 そうじき 水洗い

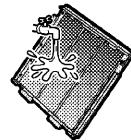
- 掃除機などでホコリを吸い取った後、水洗いする。
- 汚れがひどいときは、やわらかいブラシや中性洗剤を使って洗い、洗剤が残らないように十分すすぎ洗いをしてから日陰でよく乾かす。

水滴が残っていると「ユニット1」洗浄ランプが点灯する場合がありますので、十分に乾かしてからご使用ください。

水タンクの掃除 水洗い

- 給水のたびに、タンクに少量の水を入れタンクのキャップを閉めた状態で、振り洗いしてください。
- 汚れが取れにくいときは、やわらかいブラシや薄めた液体中性洗剤を使って洗い、洗剤が残らないように十分にすすぎ洗いしてください。

脱臭触媒ユニットの掃除 そうじき 水洗い不可 交換不要

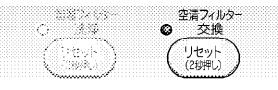
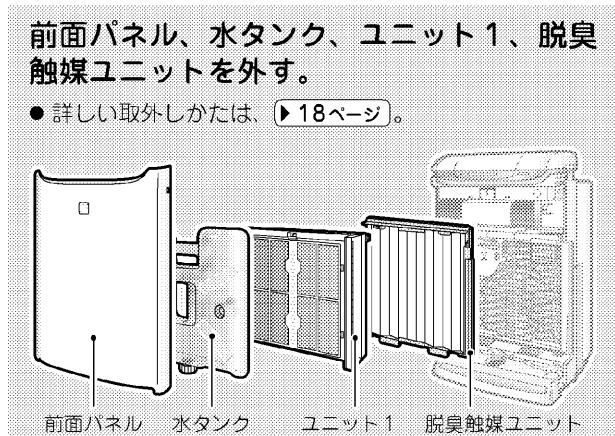
- 脱臭触媒ユニットを外して掃除機でホコリを吸い取る。
- 表面をこすらないでください。
- 脱臭触媒ユニットの取外し・取付けかたは、各部の取外し・取付けを参照してください。▶18, 19ページ
- 脱臭触媒ユニットの枠の汚れが気になる場合は、水で湿らせた布またはティッシュなどでふき取ってください。
  汚れがひどいときは、液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。(洗剤が残らないようふき取ってください。)

水洗いしない

- 水洗いすると使用できなくなります。

空清フィルターの交換

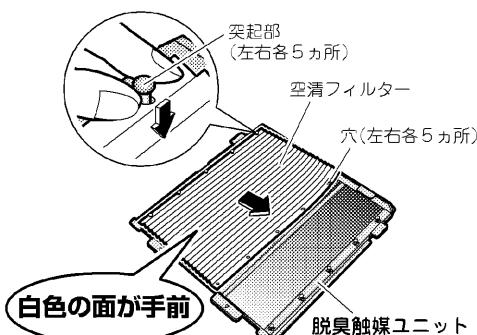
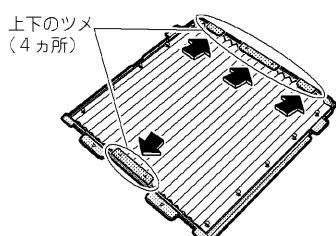
● 空清フィルターは、空清フィルター交換ランプが点灯または点滅するまで交換は不要です。

お手入れのめやす	空清フィルター交換ランプが点灯または点滅したとき
お手入れのしかた	交 換　水洗い不可

前面パネル、水タンク、ユニット１、脱臭触媒ユニットを外す。

● 詳しい取外しかたは、▶18ページ。

1 空清フィルターを新しいものと取り替える。

① 使用済みの空清フィルターを外す。
- 脱臭触媒ユニット（表側）の左右にある突起部（各５ヵ所）から空清フィルターを外す。

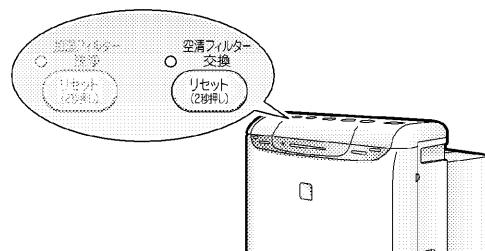
② フィルター収納部から新しい空清フィルター（１回分）を取り出し、脱臭触媒ユニットに取り付ける。
- 空清フィルターの左右の穴（各５ヵ所）を脱臭触媒ユニットの左右にある突起部（各５ヵ所）に引っかける。

- 空清フィルターを脱臭触媒ユニットの上下のツメ（４ヵ所）の下に差し込む。

前面パネル、水タンク、ユニット１、脱臭触媒ユニットをもとどおり取り付ける。

● 詳しい取付けかたは、▶19ページ。

お手入れが終わったら

1 電源プラグを差し込む。

2 上部の空清フィルター交換のリセットボタンを２秒間長押しする。

（「ピッピッ」と音が鳴り、空清フィルター交換ランプが消灯します。）

- 空清フィルターを交換しても、リセットボタンを２秒間押さなければ空清フィルター交換ランプは消灯しません。

空清フィルターの交換について

- 交換用の空清フィルターはお買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にお申し込みください。
（裏表紙を参照）
- 空清フィルターが汚れていなくても、空清フィルター交換ランプが点灯・点滅した場合は、空清フィルターを交換してください。見ための汚れとフィルターの性能は比例しません。
- 空清フィルターの交換時期は、使いかたや設置場所により異なります。
空清フィルター交換ランプは、タバコを１日10本吸うご家庭で毎日使用した場合、約２年で点灯します。
（空気の汚れが多いところでご使用の場合は、交換時期が早くなります。）
- 汚れやニオイが気になって、空清フィルター交換ランプが点灯する前に交換したときは、空清フィルター交換のリセットボタンを２秒間押してください。
- ご使用済みの空清フィルターは不燃物ゴミとして処分してください。（材質：ポリプロピレン／ポリエステル系不織布）
詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。

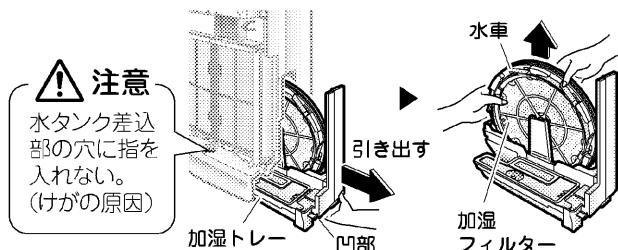
加湿フィルターと加湿トレーのお手入れ

取外しかた

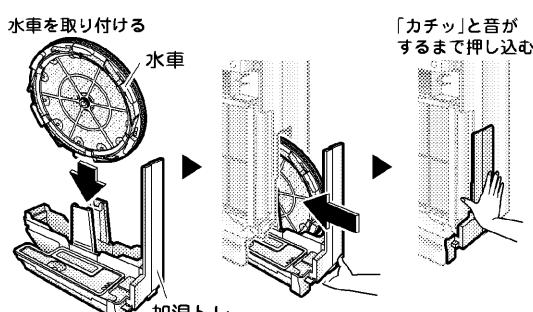
1 前面パネルと水タンクを外す。 ▶18ページ

2 加湿トレーを引き出し、水車ごと加湿フィルターを取り外す。

- 水タンクを外してからでないと、加湿トレーは引き出せません。
- 加湿トレー下部の凹部を持って引き出してください。（下図確認）
- 水が入っている場合がありますので、ゆっくり引き出してください。
- 持ち運ぶ場合は、加湿トレーの下部を持ってください。（側面は持たないでください。）

⚠注意
水タンク差込部の穴に指を入れない。（けがの原因）

取付けかた

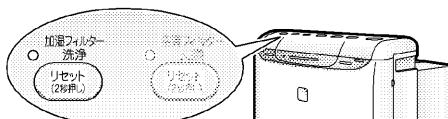
1 加湿トレーを取り付ける。

- 水車を加湿トレーにもとどおり取り付け、加湿トレーを「カチッ」と音がするまで本体に押し込んでください。正しく取り付けられていないと、加湿運転しないことがあります。

水車と加湿トレーはイラストの向きに取り付けてください。

2 水タンクと前面パネルを取り付けて電源プラグを差し込む。 ▶19ページ

3 上部の加湿フィルター洗浄のリセットボタンを2秒間長押しする。

（「ピッピッ」と音が鳴り、加湿フィルター洗浄ランプが消えます。）

- 加湿フィルターを洗浄、交換しても、リセットボタンを2秒間押さなければ加湿フィルター洗浄ランプは消灯しません。
- 加湿フィルター洗浄ランプが点灯する前にお手入れ、および交換したときもリセットボタンを2秒間長押ししてください。

加湿フィルターの洗浄

お手入れのめやす	1ヵ月に1度または 加湿フィルター洗浄ランプが点灯または点滅したとき※1 またはニオイや汚れが気になるとき （加湿フィルター 洗浄 リセット (2秒押し)）
お手入れのしかた	つけおき

ご使用環境により加湿フィルターの汚れかたは異なります。吹出口からニオイがしたり、加湿量（水の減りかた）が少なくなってきたときは、**加湿フィルター洗浄ランプが点灯する前でも下記の手順でお手入れしてください。**

※1 1日24時間の運転を行った場合、約1ヵ月で点灯します。

1 ぬるま湯または水でつけおき洗いする。

- やわらかいスポンジでかるくこすり洗いしてください。
- ブラシを使ったり強くこすったりしないでください。

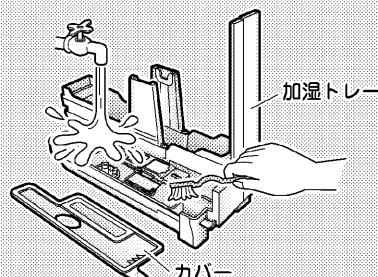
汚れやニオイが気になるときは、液体中性洗剤を使用してください。（つけおき約30〜60分）

- 加湿フィルターは枠から外さないでください。
- きれいな水を使用してすすぎ洗いを十分にしてください。（ニオイの発生や変色の原因）
- 加湿フィルターは力を加えて洗わないでください。型くずれのおそれがあります。

加湿トレーの掃除

お手入れのめやす	1ヵ月に1度 またはニオイや汚れが気になるとき
お手入れのしかた	水洗い

1 カバーを外し、加湿トレーとカバーを水洗いする。

- 水アカで汚れているときは、クエン酸を溶かしたぬるま湯または水に浸したやわらかい布やブラシで水アカを取り除き、水洗いしてください。

2 もとどおりカバーを取り付ける。

● 加湿フィルターや加湿トレーが汚れているとニオイがする場合があります。ニオイや汚れが気になるときは、下記の内容にしたがってお手入れしてください。

水アカ（白や茶色）が取れにくいとき

（水アカが付着したまま運転すると加湿量が低下します。）

ぬるま湯（約40℃以下）または水にクエン酸を入れて溶かす。

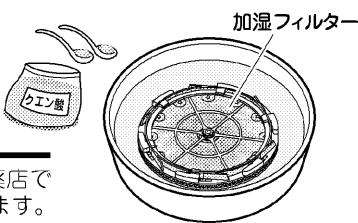
使用量：水3Lに対して、クエン酸約20g（大さじ2杯）

加湿フィルターを入れてつけおきする。（約2時間）

汚れが気になるときは、つけおき時間を延長してください。

加湿フィルター

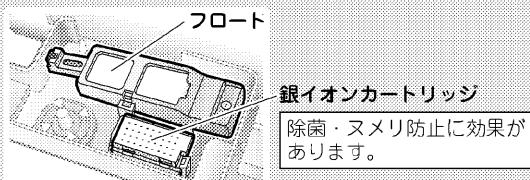
お知らせ

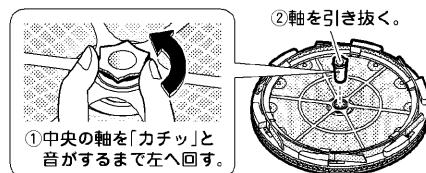
● クエン酸は薬局・薬店でお買い求めになれます。

- **漂白剤など、洗剤の使用により変色することがありますが、ご使用上に問題ありません。**
- **洗剤は注意書きで決められた量を使用してください。**

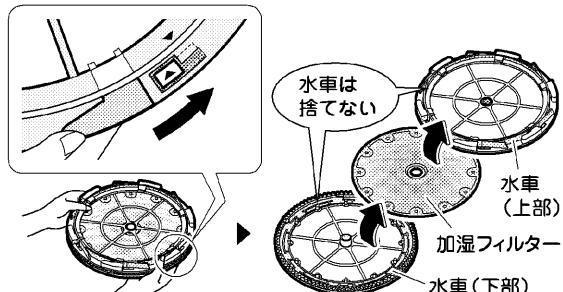
加湿フィルターのご購入と廃棄について

- 交換用の加湿フィルターは、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にお申し込みください。▶裏表紙
- ご使用済みの加湿フィルターは不燃物ゴミとして処分してください。（材質：ポリエステル）
  詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。

お知らせ

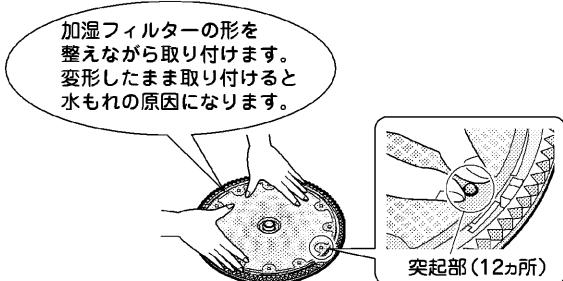
- フロートや銀イオンカートリッジは外さないでください。
- フロートを外すと、加湿運転ができなくなります。銀イオンカートリッジを外すと、除菌・ヌメリ防止の効果が得られなくなります。
- ご使用の水質や環境により、加湿トレーに溜まった水が水アカなどにより変色することがあります。その場合は上記内容にしたがってお手入れしてください。

交換のしかた　交換のめやす　10年

1 加湿フィルターと水車を固定している軸を取り外す。

2 水車を分解する。

- 水車を両手で持って、水車（上部）を矢印の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせます。
- 水車（上部）を取り外します。

- 不要になった加湿フィルターを取り外します。

3 新しい加湿フィルターを水車に取り付ける。

- 水車（下部）にある突起部（12ヵ所）と加湿フィルターの穴（12ヵ所）を合わせる。

加湿フィルターの形を整えながら取り付けます。変形したまま取り付けると水もれの原因になります。

加湿フィルターには裏・表の区別はありません。

4 水車を組み立てる。

①水車（上部）を重ねる。

水車（上部）

②矢印の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせます。

表示ランプがこんなときは

前面表示ランプ

「ピーッピーッピーッ」という音が鳴り、「ホコリ」「ニオイ」の 2 つが同時に点滅。（赤色）
本体を大きく傾けたり、倒したりすると点滅します。本体を水平な場所に設置し、運転入／切ボタンを押してください。

操作パネル

○ 給水

○ 8
○ 4
○ 1（時間）

○ のど・はだ
○ パワフル（連続）
○ 自動

○ 強
○ 標準
○ 弱
○ しずか

給水

「ピーッピーッピーッ」という音が鳴り、給水ランプが点滅。
加湿トレーが外れています。加湿トレーをしっかり取り付けてください。
▶24ページ

8
4
1（時間）

3つのランプが同時に点滅。
電気部品が故障しています。

のど・はだ
パワフル（連続）
自動

「ピーッピーッピーッ」という音が鳴り、3つのランプが同時に点滅。
温度・しつどセンサーが故障しています。

▼

販売店またはダイキンお客様ご相談窓口までご相談ください。▶35ページ

強
標準
弱
しずか

4つのランプが同時に点滅。（おしらせランプも点滅）
吹出口に障害物があります。電源プラグを抜いて障害物を取り除き、もう一度電源を入れ直して運転してください。